

せんこうかぎょうせいさんか すいさんこうがくか しゅうりょうしき 専攻科漁業生産科2年、水産工学科2年 修了式

令和6年3月1日、専攻科漁業生産科2年生7名、水産工学科4名の生徒が2年間の専攻科課程を修了しました。今後は航海士、機関士を目指して海運、水産業界に船員として就職し、日本の経済を支える一員となります。今年度の修了生の就職先は、遠洋まぐろはえ縄漁船1名、内航船8名、タグボート3名、公務員2名となっており、全員が船員、海上職の仕事につきます。

①修了式を終えた直後の専攻科生



②制帽(制服着用時にかぶる帽子)を空高く投げて専攻科解散

制帽



☆専攻科とは

船舶運航科(S科)において航海や機関に関する基礎(高校2年生のときに航海系、機関系のどちらに分かれます)を3年間学んだあとに、更に2年間専門科目について学ぶ科です。ほとんどの生徒が専攻科修了後、船員として海運・水産業界に就職しています。

航海系列の専攻科を漁業生産科、機関系列の専攻科を水産工学科といいます。漁業生産科1年、水産工学科1年は実習船「湘南丸」に乗船して、約1年間にわたり遠洋航海や沿岸航海、ドック実習などの実習を行い、船員になる基礎を実習で学びます。

専攻科2年生は、学校において座学中心となり、漁業生産科の生徒は航海士、水産工学科の生徒は機関士になるために必要な3級海技士という免許の取得を目指して日々勉強に励みます。近年は2級海技士筆記合格、1級海技士筆記合格、または科目合格をしている生徒もいます。専攻科2年生では、瀬戸内海や潮岬、神子元島など日本沿岸において重要な航路を航行する沿岸航海が1回あります。